

## 取扱説明書(日野編)

# G-scvu

ご使用になる前に	2
はじめに	3
安全にご利用になるために	4
診断機能	6
	7
≪作業サポート「DPR強制再生」≫	12
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫	
≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫	21
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫	23
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫	
≪作業サポート「DPR状態表示」≫	27
≪作業サポート「VNT点検」≫	
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫	
≪作業サポート「ターボ点検」≫	
≪作業サポート「EGR点検」≫	35
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫	
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫	
≪作業サポート「車速設定」≫	42
≪作業サポート! 車速設定(クルーズコントロール時」≫	43
≪作業サボート「エア抜き」≫	
≪作業サホート!モート使用頻度」≫	
≪ 作	

# ご使用になる前に

はじめに	3
安全にご利用になるために	4

## **C-SCAN** ご使用になる前に

はじめに

本取扱説明書では、日野車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご 使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本 体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

# G-scn 安全にご利用になるために

#### ご使用になる前に

- ■本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産 への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記 号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、 被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。





● 日野車または、日野製造のOEM車以外に使用しないでください。



作業サポート機能	7
≪作業サポート「DPR強制再生」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫	
≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫	
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫	
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫	
≪作業サポート「DPR状態表示」≫	
≪作業サポート「VNT点検」≫	29
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫	31
≪作業サポート「ターボ点検  ≫	
≪作業サポート「FGR点検」≫	35
≪作業サポート「吸入空気量占検」≫	37
≪作業サポート「アクセルセンサ占畚」≫	39
≪作業サポート「車速設定」≫	42
≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫	43
≪作業サポート「エア抜き」≫	40 ΔΔ
≪作業サポート「エード体田類度」≫	
◎(「ネッパ・「・こ・」で、「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	40- 48
○ IF 不 ノ IF □ IF 凹 II ⊆ / □ //	



## 作業サポート機能

#### 診断機能



1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して「「\*\*\*\* 」ボタンを押してください。

╘╘断メニュ	1-> Iンジン	+ 0
• /	● 自己診断	
	● データ表示	•
	<ul> <li>保存 データ表示</li> </ul>	•
~	👄 アクティブテスト	•
•	━ 作業サポート	

〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ボタンを押してください。

╘ॾिॴिॳ॔二	ב-> IYYY	+ 0
• /	● DPR強制再生	•
	━━ インジェクターIDコード確認	Þ
	━ インジェクターIDコード登録	Þ
*	■ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	Þ
	● サプライポンプ学習値初期化	••••

〈図:エンジン作業サポート項目選択画面1〉

● 診断メニュ	-> I/>ŷ	+ 🗅
•	■ インジェクターIDコード登録	•
	■ DPR状態表示	Þ
	■ DPR状態リセット	Þ
	■ DPR強制再生	Þ
•	● DPR差圧チェック	•

〈図:エンジン作業サポート項目選択画面2〉



#### 〈図:エンジン作業サポート項目選択画面3〉



#### 〈図:エンジン作業サポート項目選択画面4〉

**DPR強制再生**: DPR強制再生を実施します。 ※ 所要時間 = 約20分

- インジェクターIDコード確認: 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
- インジェクターIDコード登録: 各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
- インジェクターIDコード登録(ECU交換時): ECU交換時に各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
  - サプライポンプ学習値初期化 : サプライポンプ学習値の初期化を行います。
  - サプライポンプ機差学習値初期化: サプライポンプ学習値の初期化を行います。
    - **DPR状態表示**: DPRの状態を表示します。
    - **DPR状態リセット**: DPRの状態をリセットします。
    - **DPR差圧チェック**: DPRの詰まり具合をチェックします。
      - VNT点検: VNT(バリアブルノズルターボチャージャー)の点検を行います。
      - 燃料漏れ点検: 燃料漏れがないかどうかの点検を行います。
        - **ターボ点検**: ターボチャージャーの点検を行います。
          - **EGR点検:** EGRの点検を行います。
    - 吸入空気量点検: 吸入空気量の点検を行います。
    - **アクセルセンサ点検**: アクセルセンサの点検を行います。
    - **車速設定(クルーズコントロール時)**: クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。

#### **車速設定**: 最大車速設定を行います。



<図:ABS作業サポート項目選択画面>

エア抜き: エア抜き、ブレーキフルードの交換要領の方法を記載しています。



〈図:プロシフト作業サポート項目選択画面〉

- モード使用頻度 : モード使用頻度の確認とリセット、リセット履歴の確認を行います。
  - 時計セット: ECUに内蔵された時計のセットを行います。

≪作業サポート「DPR強制再生」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して [\*\*\*\*\* ボタンを 押してください。

●診断メニ:	1-> I))^)	+ 0
•	■ DPR強制再生	•
	━ インジェクターIDコード確認	Þ
		Þ
	■ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	Þ
•	● サプライボンプ学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

►	エンシシ > DPR強制再生	Ō
	DPR強制再生	~
<	<、概要≫ DPR手動再生を要求する表示がされていない状態でもDPRの再生を実施します。	
	1.車両を安全な場所に停車させます。 2.トランスミッタンはN位置(AT車はP位置)とし、ハーキンクワルーキを確実に引きます。 3.PTOはOFFにしてください。 4.エンシンを完全暖機します。 5.DPRの強制再生には約20分かかります。	
<	≪注意≫ 1.自己診断で故障コートや2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してくださ	~
	Ok	

〈図:注意メッセージ画面 DPR強制再生〉

#### ※注意と補足※

・ 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。 い。消去するには一度バッテリケーブルを外し、1分以上放置してください。

- 3) 『DPR強制再生』の実行画面に移ります。DPR強制再生中の状態が表示されま
  - す。

▶ エンシシ > DPR強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転数	1119.5	RPM
排気温センサB1S1	131.9	°C
排気温センサB1S2	79.4	°C
DPR/DPNR差圧	201.7	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モート	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	
	•	
再生中止		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

・ 以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温セン サ値が上昇します。

▶ Iンシシン > DPR強制再生		+	۵
項目名	現在値	単位	T
エンシン回転数	1199.0	RPM	
排気温センサB1S1	529.4	°C	
排気温センサB1S2	411.9	°C	
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa	
DPR差圧異常/過堆積	正常		
DPR再生昇温不良	正常		
DPR制御モート	PM/IDL		
DPR強制再生状態	再生中		
再生中止	Ι		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

- 4)約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示さ
  - れますので、 Real ボタンを押して DPR再生を完了してください。

エンシン > DPR	強制再生		+	۵
DPR強制再生が	完てしました。			
Ok	キャンセル			

〈図:完了画面 DPR強制再生〉

5) やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は 再生中止 ボタンを押 してください。

▶ Iンシシン > DPR強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転数	1199.0	RPM
排気温センサB1S1	529.4	°C
排気温センサB1S2	411.9	°C
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モート <sup>®</sup>	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	
再生中止		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

6) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

□ ○ ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。

Iソシン > DPI	R強制再生				+ 12
DPR再生を中」 アクセルへゆいを操	とします。 作してください	•			
Ok	キャンセル	I	I	I	

〈図:再生中止画面 DPR強制再生〉

#### ※注意と補足※

- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

1)作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して

▶️診断メニュ	1-> I)シジン	+ 0
•	■ DPR強制再生	•
	━━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 確認	►
		►
•		►
	● サプライポンプ学習値初期化	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

1) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ **C** ボタンを押し、 インジェクターIDコード確認を終了してください。

▶ エンシン > インジェクターIDコートi確認	+ 0
InjectorIDコード(第1気筒): 0231-4326-0000-D80C-E200-0000-0000-60 InjectorIDコード(第2気筒): 0200-0000-0000-0008-0000-0000-0000-0A InjectorIDコード(第3気筒): 0200-001B-0013-0014-0000-0000-0000-1E InjectorIDコード(第4気筒): 0200-2000-0009-0015-0000-0000-0000-3E	
Ok	

<図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)>

≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫

1)作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

👝 🎼 🕼 씨드ュ	> Iゾジン	+ D
•	■ DPR強制再生	•
	━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 確認	Þ
		Þ
	■ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	Þ
•	● サプライポンプ学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。
  - 注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ



〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉

3) 交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ ペー ボタンを 押してください。

<ul> <li>エンジン &gt; インジェ!</li> </ul>	クターIDコード登録			+ 0
<ul> <li>✓ 1: 320100</li> <li>2: 320000</li> <li>3: 32D300</li> <li>4: 320000</li> </ul>	00000000000000 C400E9EEED000 C300F300F1000 DE000009FA000	00000000033 00000000000000000000000000		
Ok	キャンセル			

〈図:気筒選択画面 インジェクターIDコード登録〉

- 4) KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある30桁のインジェクターIDコ
  - ードを入力します。よろしければ ペレ ボタンを押してください。

▶ エンシン > インジェウターIDコード登録	KEYBO	ARD	
交換する新品のインジェクタASSY頭部に刻印してある。 IDコートビコロ桁の基数字)を直接読み、入力して下ざい。	0	1	2
DJ-F (SUNTOLASS) を担任認め、ヘノリして下さい。 入力が完了したら、[OK]を押して下さい。		4	5
	6	7	8
	9	А	в
, .	С	D	E
Ok _ ++>tel	F	<-	Enter

〈図:IDコード入力画面 インジェクターIDコード登録〉

IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。



5)入力したIDコードが正しければ **ION** ボタンを押してください。ボタンを押 すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。

▶ Iンシシン > インジェクターIDコード登録	+ a
登録するコートは 320100000000000000000000000000000000000	
ΟΚ キャンセル	I I I

〈図:IDコード確認画面 インジェクターIDコード登録〉

6) 書込み完了のメッセージが表示されます。 \_\_\_\_ ペー ボタンを押してインジェク

ターIDコード登録を終了します。

Iンジン > インジェ	クターIDコード登録		+ 0
インジェクタ補正(手)	動IDコード登録)が完	了しました。	
ОК	キャンセル		

〈図:完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

#### ≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫

#### ※注意と補足※

- ・ ECUを交換した際に行う作業です。
- ・ 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード登録」と同様となります。

≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫

1)作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して <sup>(をNTER --)</sup> ボタンを押してください。

●診断メニュ	L- > エンシン	+ D
•	■ DPR強制再生	•
	━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 確認	Þ
	■ インジェクターIDコード登録	►
*	■ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	Þ
•	━ サプライポンプ学習値初期化	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『サプライポンプ学習値初期化』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示 されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを押してくだ さい。

▶ エンシシン > サプライポンブ学習値初期化	<b>← D</b>
この機能は、インジェクション(サフライ)ホツフきたはエンシツコントロールコンビュータを交換行 必ず行う機能です。	羑、
サフッライホシフッ学習値初期化を行います。	
注意 IG ON、エンシン停止状態で実施して下さい。	
実行する場合は、[OK]を押して下さい。	

〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

3) 初期化完了のメッセージが表示されます。 こ ・ ボタンを押してサプライポ

ンプ学習値初期化を終了します。

エンシン > サフキ	シイポンブ学習	随初期化		+ D
実行ほた。				
Ok	キャンセル			

〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

≪作業サポート「DPR状態リセット」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタン を押してください。

━診断メニ:	1-> I)>>)	<b>+</b> D
•		Þ
	━ DPR状態リセット	•
	■ DPR強制再生	►
° ()	■ DPR差圧チェック	•
•	● サプライポンプ機差学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。

▶ エンシシ > DPR状態リセット	+ 0
≪概要≫ DPRの状態をリセットします。 DPR状態リセットはDPRの点検及び洗浄後に実施してください。 DPR状態リセットしま IG ON(エンシン/存止)で実施してください。	
OK [ ++>tell ] [ ]	

〈図:確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

3) 実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ <u>・・</u>ボタンを押してく ださい。

▶ エンシシ > DPR状態リセット	+ 0
DPR状態のリセットを実施しますか?	

〈図:確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

4) リセット完了のメッセージが表示されます。 **へ** ボタンを押してDPR状態リ セットを終了します。

▶ エンシン > DPR状態リセット			+ D
DPR状態のリセットが完了しました			
OK 🚺 Ŧヤンセル 🛽	I	Ī	

〈図:完了メッセージ画面 DPR状態リセット〉

≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫

👝 i診断メニュ	1-> IY97	u + D
•	━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 登録	•
	■ DPR状態リセット	►
	■ DPR強制再生	►
*	■ DPR差圧チェック	•
•	● サプライポンプ機差学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますの で、内容をご確認ください。よろしければ ペーボタンを押してください。

▶ Iンシシン > DPR差圧チェック	+ 0
≪概要≫ DPRの差圧チェックを行います。 エンシン回転数が上昇し、DPRの値が表示されます。 DPRの差圧が基準値を超えた場合は、DPR再生、 DPRのクリーニングやDPRの交換のいずれかを行ってください。	
DPR差圧チェックを実行しますか?	
Ok 🚺 ++>>tu 📔 🚺	

〈図:確認メッセージ画面 DPR差圧チェック〉

3) DPR差圧状態が表示されます。 \_\_\_\_\_\_ ボタンを押すとエンジン回転数が上

がりDPR差圧が上昇します。

▶ エンシン > DPR差圧チェック		+ 0
開始ホタンを押すとDPRの差	E圧チェックを行います。	
<ul> <li>エンシシン 差圧基準</li> <li>A09C HX07</li> <li>E13C カーゴン</li> <li>P11C カーゴン</li> <li>基準値を超えた場合は740</li> </ul>	i値(kPa) トラック 10.5kPa / HXO7トラクタ 9.0kPa / MZ12トラック 7.0k 7.5kPa / ダンフ°11.5kPa / トラクタ 9.5kPa L1.0kPa / トラクタ 9.5kpa レター部を洗浄または交換をしてください。	Pa
エンシン回転数 DPR/DPNR差圧 DPR差圧	0 rpm kPa 100.0 kPa	
- 開始 <u></u> キャンセル		

〈図:モニター画面 DPR差圧チェック〉

4) 停止 ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR 差圧が上昇します。終了する場合は キャンセル ボタンを押してください。

▶ エンシシ > DPR差圧チェック
DPR差圧チェック中です。
Iンシシ 差圧基準値(kPa) A09C HX07トラック 10.5kPa / HX07トラクタ 9.0kPa / MZ12トラック 7.0kPa E13C カーゴ 7.5kPa / タンフ <sup>*</sup> 11.5kPa / トラクタ 9.5kPa P11C カーゴ 11.0kPa / トラクタ 9.5kpa 基準値を超えた場合はフィルター部を洗浄または交換をしてください。
エンシン回転数 0 rpm DPR/DPNR差圧 kPa DPR差圧 100.0 kPa
停止 キャンセル

〈図:モニター画面 DPR差圧チェック〉

≪作業サポート「DPR状態表示」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

🛑 記念断以二:	1> I)ŷŷ	+ 0	1
•	■ DPR状態表示		•
	■ DPR状態リセット	Þ	Ī
	■ DPR強制再生	Þ	
*	■ DPR差圧チェック	•	
•	● サプライポンプ機差学習値初期化		•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。



〈図:確認メッセージ画面 DPR状態表示〉

3) 各DPRに関係するデータを表示します。次の項目を表示させる場合には

Next ボタンを押してください。

▶ Iンシン > DPR状態表示		+ 0
DPRの各状態表示がすべて いずれかのDPR状態表示が DPR強制再生を行ってくだ 差圧判定DPR故障 温度判定DPR故障 DPR異常過熱 DPR差圧センサー目詰まり 触媒劣化	て"OFF"の場合は、次ページのDPR状態を確認してください。 が"ON"の場合は、DPR点検及び洗浄後にDPR状態リセットを実け さい。 OFF OFF OFF OFF OFF OFF	淹後、
Next ++>t/		

〈図:モニター画面 DPR状態表示〉

4) キャンセル ボタンを押すとDPR状態表示を終了します。

▶ エンシシ > DPR状態表示
DPR状態表示がすべて"OFF"の場合は、DPRが正常に機能します。 いずれかのDPR状態表示が"ON"の場合は、DPR点検及び洗浄後にDPR状態リセットを実施後、 DPR強制再生を行ってください。
目詰まり警告レベル OFF 目詰まり危険レベル OFF 昇温不良 OFF

〈図:モニター画面 DPR状態表示〉

≪作業サポート「VNT点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

●診断メニ:	ュー > エンシツ	+	Ô
•		►	
	● 燃料漏れ点検	Þ	
	━ ターボ点検	Þ	
	━ EGR点検	Þ	
•	● 吸入空気量点検	•	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

 2)『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。

エンシン > VNT。	点検			+ 0
≪概要≫ VNT(ハリアブルノス ≪注意≫ 1.エンジンを停止ざ 2.パーキンクブレーキ 3.スターターキーをOf	・ルターホチャーシャー)のハ せ、キ*ヤをニュートラルホ% ;を引いてください。 √にしてください。	ルフチェックを行います ♡ョンにしてください。	ŧ.	
Ok I	キャンセル			

〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉

3) VNTのテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉

4) DOWN 「 UP ボタンでVNTの開度を変更することができます。VNT点検

を終了する場合には「停止」または「キャンセル」ボタンを押してください。

エンシン > VNT	点検	+ 0
[DOWN/UP]ホッ 実開度値が追従 基準値:誤差5%	めを押すと、VNT開度を0%から100%まで10%ずつ変化できます。 ますることを確認してください。 6以内	
- アウティブテスト項胆 指示VNT開度 - デー奼ニタ -	∃- 20 %	
実VNT開度	20 %	
	UP 停止 キャンセル	

〈図:モニター画面 VNT点検〉

≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

━1診断メニ	ユー > Iンシシ		۵
•	● 燃料漏れ点検	•	
	━ ターボ点検	Þ	
	■ EGR点検	Þ	
	━━ 吸入空気量点検	Þ	
•	● アクセルセンサ点検		

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ 0k ボタンを押してください。

▶ エンジシ > 燃料漏れ点検	+ Ö
≪概要≫ 燃料漏れが無いかどうかの点検を行います。 <<注意≫ 1.4や位置をニュートラルにし、パーキンクウルーキを引いてください。 2.PTOをOFFにしてください。 3.Iンシット冷却水温を60℃以上にしてください。 4.Iンシッをアイトル状態にし、IンシッウォームアッフプスイッチをOFFにしてください。	
OK 👖 40000 📔 📗 📗	

〈図:確認メッセージ画面 燃料漏れ点検〉

3) 燃料漏れ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

▶ エンシシ > 燃料漏れ点検	+ 🖸
[開始]ホタンを押すと、エンシン回転数が1500RPMまで上昇し、 燃料圧力がコモンレール圧力の値まで上昇します。 燃料圧力とコモンレール圧両方の値が低い場合、キャフ <sup>・</sup> をチルトアップし、 エンシンフート <sup>、</sup> を傾け燃料が漏れていないか確認してください。	
Iンシシ冷却水温 80 °C Iンシシ回転数 0 RPM Iモンレール圧力 249 MPa 実モンレール圧力 0 MPa	
開始 キャンセル 【 【	

〈図:モニター画面 燃料漏れ点検〉

- 4) エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料 漏れ点検を終了する場合には <u>停止</u> または ポンセル ボタンを押してくださ
  - い。

▶ エンシン > 燃料漏れ点材	倹		← 0
点検を中断する場合は[	停止]ボタンを押してください。		
エンシン冷却水温 70 エンシン回転数 150 コモンレール圧力 202 実コモンレール圧力 203	) °C D RPM 7 MPa 0 MPa		
停止 キャンt		I	

〈図:モニター画面 燃料漏れ点検〉

≪作業サポート「ターボ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを押し てください。

🛑 診断メニ:	1-> IYYY	+	Ō
• /	━ ターボ点検	•	-
	━ EGR点検	Þ	
	━ 吸入空気量点検	Þ	
	━ アクセルセンサ点検	Þ	
•	● 車速設定(クルーズコントロール時)	•	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペーボタンを押してください。

► IVが > ターボ点検	· D
≪概要≫ ターボチャージャーの動作チェックを行います。 ≪注意≫ <ol> <li>1.キャ位置をニュートラルにし、パーキンケブルーキを引いてください。</li> <li>2.PTOをOFFにしてください。</li> <li>3.エンシン冷却水温を60℃以上にしてください。</li> <li>4.エンシンをアイトル状態にし、エンシンウォームアッフ*スイッチをOFFにしてください。</li> </ol>	
Ok 🚺 ‡+>/tell 📔 🚺	

〈図:確認メッセージ画面 ターボ点検〉

3) ターボ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

► I29や > 9+ボ点検	D D
[開始]ホタンを押すと、エンシン回転数が上昇します。 その後、エンシン回転数が上昇し回転数が安定した時、ターホ・チャージャーの値が110kPa以上 であることを確認してください。 エンシン回転数が安定した後、吸気圧が110kPa以上である必要があります。 エンシン冷却水温 40 ℃ エンシン回転数 600 RPM ターホ・チャージャ圧 71 kPa	

〈図:モニター画面 ターボ点検〉

4) エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終 了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。

▶ エンシン > ターボ点検	0 + D
   [停止]ホタンを押すと、エンシン回転数がアイトル状態に戻	ります。
エンシン冷却水温 90 ℃ エンシン回転数 3300 RPM ターホチャージャ圧 131 kPa	
「停止」 キャンセル 」	

〈図:モニター画面 ターボ点検〉

≪作業サポート「EGR点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

●診断メニ:	1-> Iンシヘン	+ 0
•	── EGR点検	•
	━ 吸入空気量点検	Þ
	👄 アクセルセンサ点検	Þ
	● 車速設定(クルーズコントロール時)	Þ
•	● 車速設定	• •

〈図:作業サポート項目選択画面〉

 2)『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。

▶ Iンシシン > EGR点検	<b>→</b>
≪概要≫ EGRバルブチェックを実施します。	
≪注意≫ 1.キャをニュートラルホッション(こし、ハペーキンケブルーキを引いてください。 2.マターターキーをON(こしてください。(エンジッ)は始新させな(い)	
Ok _ ++>tell	

〈図:確認メッセージ画面 EGR点検〉

3) EGR点検のテストを開始する場合には
■ 開始
■ ボタンを押してください。

MU71初期にボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。

▶ Iンシン> EGR点検			+ 0
[開始]ホタンを押すと、E( [パルプ1ネフリ期化]のホタン	GRの( を押し	直をを[DOWN/UP]ホタンで変化することができます。 走場合、EGR全開バルフィ1位置の初期化が実施されます。	
- アウティブテスト項目 - 実EGR開度 - データモニタ -	0	%	
目標EGR開度1	0	%	
開始 パルフロ約	明化	: ++>tell I I	

〈図:モニター画面 EGR点検〉

4) DOWN I UP ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点

検を終了する場合には「停止」または「キャンセル」ボタンを押してください。

▶ エンシン > EGR点検			+	Ō
[DOWN/UP] ホタンを押すと10% 実際のEGRの値と比較してくださ(	੶ッ7℃0%から100	%の範囲でEGRの値を変更できま	ます。	
基準値:誤差5%以内				
- パクティアテスト項日 -   実EGR開度 1    - データモニタ -	%			
目標EGR開度1 1	%			
DOWN UP	停止 📘 🕂 १	/セル		

〈図:モニター画面 EGR点検〉

≪作業サポート「吸入空気量点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタン を押してください。

🗀 診断メニュ	1> エンシシ	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	Ō
•	■ EGR点検	Þ	
	👄 吸入空気量点検	•	
	━ アクセルセンサ点検	Þ	
	● 車速設定(クルーズコントロール時)	Þ	
•	● 車速設定	•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますの で、内容をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。

▶ エンシウ > 吸入空気量点検	+	۵
≪概要≫ アクセルへずルを操作しながら吸入空気量のチェックを行います。		^
1.キャをニュートラルにし、パーキンクウルーキを引いてください。 2.PTOをOFFにしてください。 3.エンシン冷却水温を60℃以上にしてください。 4.エンシンを暖機してウォームアップスイッチをOFFにします。 5.アクセルを踏むと、吸入空気量が変化することを確認します。		
≪注意≫ 吸入空気量が変化しないときは、吸気/排気系(エアフィルタ,マフラー等)または エアフロセンサーを確認してください。 エアフロセンサ周辺が汚れている場合にはセンサー周辺を掃除してください。		~
OK Attal I I I		

〈図:確認メッセージ画面 吸入空気量点検〉

3) アクセルを踏み込むことによって吸入空気量が変化します。現在の値を保持す る場合には 保持 ボタンを押してください。 パルブゴ初期化 ボタンを押すとEGR全閉 バルブ1の初期化を実施します。

▶ エンシン > 吸入空気	. <b>量</b> 点検	•	۵
[保持]ホタンを押すとき	見在の値が保持されます。		
エンシシン冷却水温 アクセルホシションセンサ 吸入空気量	60 ℃ 20 % 10 g/s		
保持も	אלא (Contraction of the second s		

〈図:モニター画面 吸入空気量点検〉

4) (#持)ボタンを押したときの値が表示されます。 解放 ボタンを押すと再 度モニター画面移行します。点検を終了する場合には キシセル ボタンを押して ください。

▶ エンシン > 吸入空気	; <b>量</b> 点検	+ 🗅
[解放]ホタンを押すとき	見在の値がキャンセルされます。	
エンシシン冷却水温 アクセルホシンションセンサ 吸入空気量	60 °C 20 % 10 g/s	
821t7 ±1	• <sup>7</sup> / <del>†</del> /1.	

〈図:データ保持画面 吸入空気量点検〉

≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫

1)作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタ ンを押してください。

━診断メニ:	1-> I))))	tanun tan 🖊	D
• /	● EGR点検	Þ	
	━ 吸入空気量点検	Þ	
	👄 アクセルセンサ点検	•	
*	● 車速設定(クルーズコントロール時)	Þ	
•	● 車速設定	•	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペペパタンを押してください。

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	+ D
≪概要≫ 走行時、PTO時、アクセルセンサ電圧が基準値内になるようアクセルぺ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚ルストッパー, ターンハックルを調整します。	
≪注意≫ スターターキーをOFFにしてください。(エンシウは始動させないでください) 調整しても値が基準値範囲内でない場合はアクセルセンサ交換が必要です。	
Ok t+v>tzl	

〈図:確認メッセージ画面 アクセルセンサ点検〉

3) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する 場合には 保持 ボタンを押してください。 PTO調整 ボタンを押すとPTO時の アクセルセンサの点検を行えます。

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	+	Ō
走行用アウセルセンサ調整を行います。		
アウセルセンサ1電圧   0.70 V		
アウセルセンサ2電圧 0.70 V		
アクセルセンサ開度 0%		
アクセルSW OFF		
1.アクセルから足を離します。 基準値(0.7-1.0V)外の場合はアクセルへないの裏側にあるアクセルセンサとアクセルへないをつな(いるターンハックルの長さを調整してアクセルセンサ電圧を基準値内にしてください。 2.アクセルを一杯に踏み込みます基準値(3.5-4.4V)外の場合はアクセルへないの裏側にある アクセルへないストッハの位置を調整してセンサ電圧を基準値内にしてください。 調整しても基準値にならない場合は、アクセルセンサ交換が必要です。 [保持]本なンを押すとその時の読み取り値をを保持します。	,ı٣	
PTO調整 保持 キャンセル IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII		

〈図:モニター画面 アクセルセンサ点検〉

4) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する 場合には 保持 ボタンを押してください。点検を終了する場合には キンセル ボタンを押してください。 アウセル調整 ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検 に戻ります。

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検		+	0
作業用アウセルセンサ調整を行います。			
作業用アウセルセンサ出力電圧 0.00 作業用アウセルセンサ開度 0	) V %		
1.作業用アクセルをアイトルに戻します。 作業用アクセルセンサのレハーストッハポル 2.直接、作業用アクセルをフルにしてくだ 車両左側リアアーチ内にある作業用アク アクセル電圧を基準値内にあわせてくだ [保持]ホタンを押すとその時の読み取	基準値(0.7-1.0V)外の場合は車両左側リアアーチ内に かの長さを変え、アクセル電圧を基準値内にあわせてくだ。 さい。基準値(3.3-3.9V)外の場合は セルセンサのレハーストッパホルトの長さを変え、 さい。 り値をを保持します。	こある さい。	>
アクセル調整 保持 きんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう ひょうしょう しょうしょう しんしょう しんしょ しんしょ	キャンセル I I		

〈図:データ保持画面 吸入空気量点検〉

5) (保持)ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。) 解放 ボ タンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には キャンセル ボタンを押してください。

Iンシン > アク	セルセンサ点検				+ 0
[解放]ホッンを アクセルセンサ1電 アクセルセンサ2電 アクセルセンサ開度 アクセルSW	甲すと、現在の読 圧 0.00 V 圧 0.00 V ぎ 0% OFF	み値がキャンセ	しされます。		
解放	キャンセル	キャンセル			

〈図:走行時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	
[解放]ホッンを押すと、現在の約 作業用アクセルセンサ出力電圧 作業用アクセルセンサ開度	読み値がキャンセルされます。 0.00 V 0 %
解放 キャンセル	

〈図:PTO時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

≪作業サポート「車速設定」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

━診断メニ:	1> エンシシ	······· + 0
• /	● EGR点検	• •
	━ 吸入空気量点検	►
	━ アクセルセンサ点検	Þ
	● 車速設定(クルーズコントロール時)	Þ
•	● 車速設定	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを押してください。

▶ Iンシ?> 車速設定	+ 0
≪概要≫ 車両が出せる最高車速の設定を行います。 ≪注意≫ 車速の下限値は、各車両以下の通りです。 大型車両:時速35km 中型車両:時速50km その値以下に設定した場合は無効になります。	
Ok キャンセル	

〈図:確認メッセージ画面 車速設定〉

3) DOWN UP ボタンで車速値を変更することができます。 変更 ボタ

ンを押すと最大値に表示されている値を設定します。

Iンシン > 車i	速設定			+ 0
[DOWN/UP]オ [変更]ホタンを扌	『タンを押すと、任意 甲すと最大速度が影	で最高速度が 設定されます。	が変更ができます。	
項目 最高車速	現在値 80	最大値 80	単位 km/h	
変更	DOWN	UP	++>セル	

〈図:モニター画面 車速設定〉

4) 車速設定を終了する場合は \*\*ンセル ボタンを押してください。

▶ Iンシン > 車速詞	定			+ 0			
  DOWN/UP]ホタンを押すと、任意で最高速度が変更ができます。  変更]ホタンを押すと最大速度が設定されます。							
項目 最高車速	現在値 85	最大値 85	単位 km/h				
	DOWN	UP	キャンセル				
			19260				

〈図:モニター画面 車速設定〉

#### ≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫

#### ※注意と補足※

・ 基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

≪作業サポート「エア抜き」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『エア抜き』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

■ 診断メニュー > ABS	+ 0
<ul> <li>エア抜き</li> </ul>	•
*	
0	
•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『エア抜き』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、

──牀ヘ── ボタンを押して作業を進めてください。

▶ ABS > Iア抜き
デュトロ・レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します エア抜き方法について以下に示します
1.事前準備 (1)プレーキフルードをリザーバーにMAXラインまで補充します
(2)エンシンを始動し,フルード交換作業中はアイトリンクを保ちます
≪注意≫ フロント側あるいはリヤ側のフルーキラインの作業が終了してから反対側のフルーキラインの 作業をしてください
次へ キャンセル

〈図:メッセージ画面 エア抜き〉

※注意と補足※

デュトロ、レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します。

実施方法に従い作業をしてください。

≪作業サポート「モード使用頻度」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『モード使用頻度』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

●診断メニ:	ב− > プロシフト	+ 0
•	━ モード使用頻度	•
•	━ 時計セット	Þ

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『モード使用頻度』の概要が表示されます。搭載されているプロシフトを確認し、
  - \_\_\_\_\_\_ または\_\_\_\_12M\_\_\_ ボタンを押して作業を進めてください。

▶ プロシフト > モード使用頻	度	+ D
≪概要≫ モード使用頻度とリセット網 必要があれば、モード使用	健康の確認を行います。 随度のリセットを行います。	
確認するプロシフトを選択し	てください。	
7M 12M	++>zll	

〈図:メッセージ画面 モード使用頻度〉

3) メッセージ画面が表示されますので、 ペー ボタンを押してください。

🕨 プロシフト > モー	ド使用頻度	
≪概要≫ モード使用頻度, 必要があれば、	▶ メッセージ*	
確認するプロシフ	プロシフト7M(7段)が選択されました。 搭載されているシステムと異なるシステムを選ぶと、 モード使用頻度が正常に表示されません。	
Ok	Ok ++>>te/ ++>>te/U/ ++>>te/	

〈図:システム確認画面 モード使用頻度〉

4) モード使用頻度が表示されます。

リセット履歴を確認する場合は ペレ ボタンを押してください。 モード使用頻度の確認のみの場合は ポタンを押してメニュー画面に 戻ります。

ļ	▶ プロシフト > モード使用頻度 🕴 🗖
	モード使用頻度を表示します。
	1.Dパワー 45 % 273 H 2.Dエコノ 5 % 32 H 3.Hパワー 44 % 264 H 4.Hエコノ 6 % 36 H
	[OK]を押すとリセット履歴を表示します。 [キャンセル]を押すとメニュー画面に戻ります。
	Ok キャンセル キャンセル

〈図:確認画面 モード使用頻度〉

5) リセット履歴が表示されます。

モード使用頻度をリセットする場合は **ペ** ボタンを押してください。 リセット履歴の確認のみの場合は \*\*ンセル ボタンを押してメニュー画面に戻り ます。

🌔 プロシフト > モ	ード使用り	須度				+ 0
リセット履歴を表	を示します。	,				
リセット 現在	11 年 12 年	07 月 01 月	31日 03日	23 時 23 時	59 分 40 分	
モード() メニュー	吏用頻度 <sup>;</sup> -画面へ戻	をリセットす る場合、[	る場合、[( キャンセル]を	OK]を押して 評してくださ	ください。 らい。	
Ok	キャンセ	:#	キャンセル		I	

〈図:リセット履歴確認画面 モード使用頻度〉

6) リセット履歴が完了したら **ロ**ペ ボタンを押してください。



#### 〈図:リセット履歴完了画面 モード使用頻度〉

≪作業サポート「時計セット」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『時計セット』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押し てください。

━診断メニ:	ב∽ > วใบง่7Ւ	+ D
•	━ モード使用頻度	Þ
	😑 時計セット	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『時計セット』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、
  - \_\_\_\_ ボタンを押して作業を進めてください。

▶ プロシフト > 時計セット	+ D
《概要》 ECU内蔵時計のセットを行います。 《注意》 IG ON、エンシン停止中のみ実行できます。 車両状態を確認してください。	
Ok ++)th	

〈図:メッセージ画面 時計セット〉

3) ECUIC内蔵された現在の時刻が表示されます。

この場合は 2012年1月3日23時41分 を示しています。

▶ プロシフト > 時計セット	KEYBO	ARD	
現在の時刻を入力してください。 年は西暦の下2桁を入力してください。	1	2	3
時間は24H表示で入力してください。 入力が完了したら、[OK]を押してください。	4	5	6
中止する場合は[キャンセル]を押してください。	7	8	9
	•	0	
<u>時</u> <u>分</u> 23 41	<-		Enter
0k ++v)th			

〈図:ECU内蔵時刻表示 時計セット〉



〈図:修正画面 時計セット〉

4) 書き込み中の画面が表示されます。



〈図:メッセージ画面 時計セット〉

5) セットされた時刻が表示されます。

入力された時刻が正しく表示されていれば 
ペペー ボタンを押して時計セットを終了します。

▶ プロシフト > 時計セット 🛛 🗲 🛛	a
書き込みが完了しました 表示されている時刻が入力した時刻と異なる場合、 [キャンセル]を押してもう一度時刻セットを行ってください。	
12年 02月 01日 12時 00分	

#### 〈図:メッセージ画面 時計セット〉



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市城南1丁目6番39号 Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

http://www.inter-support.co.jp

### 製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル<sup>※</sup>)

### サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 → ① (ナビダイヤル<sup>※</sup>) Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2020年10月発行 第16版 本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。 本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-16-16